

今号のわだい

- 【1面】働きやすい職場づくりへ
働くルールを守る運動広げよう
- 【2～3面】女性・青年分野の取り組み
- 【4面】看護分野の取り組み

全厚労ニュース

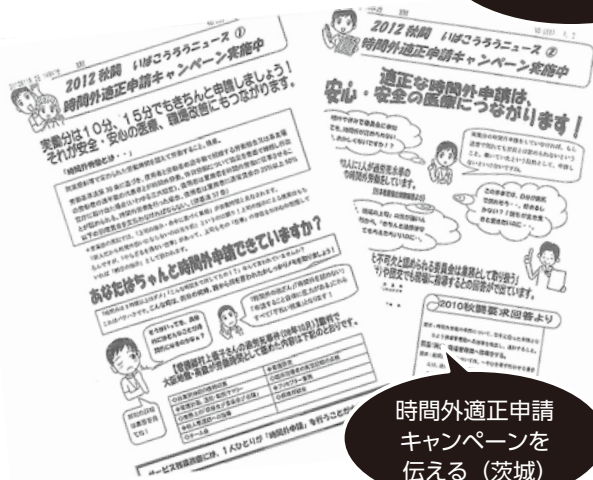
全国労働組合連合会
厚生連〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月 20日
定 価 30円誰もが働きやすい職場づくりへ
働くルールを守らせる運動広げよう支部役員が
プラカードを持って
職場巡回（秋田）残業に負けるな！
7年間の運動

秋田

秋田では昨年10月に7回
目の「時間外チェックカレ
ンダー」の記入運動に取り
組み、1209人のデータ
を集約しました。その中で
は、8割以上にタダ働きが
存在するとともに、月45時
間以上の残業をしている人
もいることが明らかになり
ました。労組では請求しや
すい環境づくりとともに、
請求を暗に制約するパワハ
ラの改善などを課題に運動
を続けています。また11月
8～9日には「不払い残業

撲滅デー」にも取り組みま
した。13春闘では06年から
始めて14回目となる取り組
みとして、「不払残業撲滅
期間」を2月4日～3月15
日に設定しました。キャッ
チコピーは「残業に負ける
な」、さらにチラシには「み
んな見てるよ、あなたの頑
張り」という言葉を添えて、
仲間を励ましています。ま
た期間中の毎週金曜日には
「不払残業撲滅デー」とし
て支部役員がプラカードを
持って職場まわりをしまし

より良い医療・介護を提供するには、そこで働く人たちにとっても「働き
やすい、働き続けられる職場」でなくてはなりません。今回の特別号は、働
くルールの課題を始め、女性、青年、看護分野のそれぞれの取り組みについて、
いくつか特徴的なものを紹介する紙面としました。（編集部）

時間外適正申請
キャンペーンを
伝える（茨城）各県でも「時間外労働」
問題に取り組み

新潟では昨年から春闘
期・秋闘期を通じて「サー
ビス残業改善月間」に取り
組み、看護記録やサマリー
の作成、プリセプター業務、
2交替夜勤時の仮眠が取得
できなかった分、当直時の

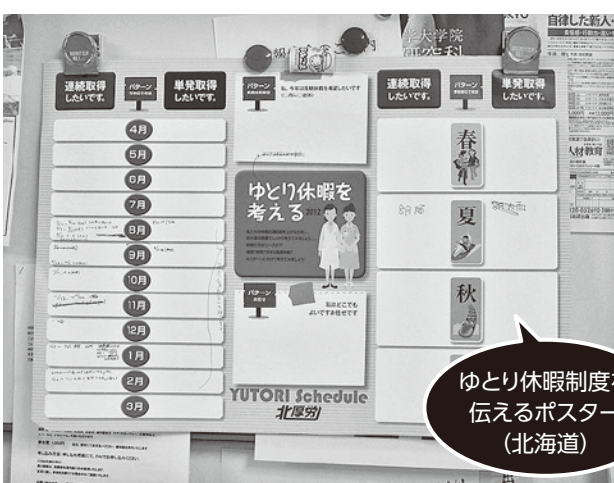
た（写真）。

また秋田では、「各職場
に出向き、働く仲間の声を
集める」という方針の下、
薬局や放射線科、外来看護、
検査科などへの職場訪問活
動に取り組んでいます。放
射線科での訪問活動では、
機器のデジタル化などに伴

う業務の複雑化など「人手
不足」の声が多数出される
とともに、「日直・当直・
拘束」などの負担の問題が
出されています。外来看護
では昼休みや休暇時のカバ
ー体制をどうするか、が大
きな問題として挙げられま
した。検査科では、人員確
保と技術の伝達、長時間労
働の改善、職場でのスタッ
フの話し合いの場などの問
題が出され、それぞれの職
種の課題を明らかにして
います。

茨城でも、2010年秋
闘で回答された「時間外労
働の申請については、法律
に沿った申請となるよう現
場管理職への指導を徹底す
る、時間外労働の申請につ
いては、制限しないよう指
導する」との内容を浸透さ
せるため、「時間外適正申
請キャンペーン」を実施し、
ニュースの発行（写真）な
どで、一人ひとりの「時間
外申請」を呼びかけていま
す。

長野では「定時で帰れる
職場づくり」プロジェクト
をスタートさせ、「職場別

ゆとり休暇制度を
伝えるポスター
（北海道）

北海道では12春闘で「ゆ
とり休暇」の日数拡大が図
られましたが、各職場には
「ゆとり休暇取得」ポスタ
ーを掲示（写真）し、職場
内でゆとり休暇制度の周知
徹底と計画的
な取得をすす
めています。
また「ゆとり
休暇取得アン
ケート」の取
り組みを行い、
満足度や取得
率の調査を行
って分析を進
めていること
ろです。

また徳島で
は13春闘にお
いて、自己研

各職場にキャンディの
詰め合わせを配布
（長野）

の残業者数の調査」の実施、
労組で行っている「ノー残
を配りながら、定時帰りの
啓蒙活動を行っています。

「業
デー」の設定
と執行委員の巡
回点検を労働安
全衛生委員会の
課題とすること
を要求し、労務
委員会を検討し
ています。佐久
支部のノー残業
デーでは、「お
疲れ様！」の思
いを込めて、「キ
ャンディの詰め
合わせ」（写真）

休みを取って
リフレッシュしよう

集って学んで 青年部の取り組み

6月8～9日に恒例の新人学習会を行ない、新人と役員合わせて100名が参加しました。執行部からの各支部や専門部紹介の後、「労働組合って何だ」と題した講演を行ない、新人10人くらいのグループに分か



グループに分かれてのクイズで競いました



夜の交流会でのパフォーマンスは完成度も高く盛り上がりました

今回のコラボ企画は労働組合の若者同士の交流を図り、結束を高めるために企画しました。新組合員はもとより、青年組合員も組合について復習できる場となり、さらに新人との交流が図れました。



みんな輪になった夜のキャンプファイアー

静岡

仲間意志強く 大きな力に

れて2日間にわたってのグループ対抗クイズを行ないました。

夜の交流会では支部ごとにし出し物を準備し、踊りなどのパフォーマンスを披露しました。付属看護学校の同期も多いため仲間意識も

強く、出し物の完成度もなかなかのものです。今年の新人は飲みっぷりも盛り上がり度も例年になく高く、今後の静岡労を支えてくれる大きな力として期待しています。

福島

新組・青年 コラボで結集

6月29～30日にこれまで別々に行なっていた新組合員研修会と青年部サマー交流会を同時開催。新人59名を含む105名が参加しました。

今回のコラボ企画は労働組合の若者同士の交流を図り、結束を高めるために企画しました。新組合員はもとより、青年組合員も組合について復習できる場となり、さらに新人との交流が図れました。

行ないました。2日目は石巻づくり、ハーブ園散策、バーベキューで交流しました。参加者からは「同じ新人の方や青年の方と交流できてよかった」と感想があり、これからも結束と交流を一層図れるような企画を行なうて行きたいと思っています。

三重

楽しい 組合活動の一日に

7月21日に三厚労主催・会共催のたて干し&潮干狩りを行ない、200家族724名が集まり、子ども達



子ども達も魚を追いかけ盛り上がりしていました

にとつて楽しい夏休みの始まりとなりました。大潮の時間に合わせ、たて干しの開始時間が9時30分と早く始まりましたが、あじのつかみどりに盛り上がりしました。



おそろいのオレンジTシャツで網を管理する青年部

美味しくいただき、抽選会、じゃんけん大会を行ない、楽しい組合活動の一日となりました。

秋田

集まるからこそ届く

7月13～14日に第32回新入組合員学習会と交流の集いを開催し、新人98人を含

む142人が集い「グループワーク」ためになる学習会「ほっとする交流会」を通じて学びと交流を深めました。

グループワークでは「働きがい」「悩み」などを参加者が出し合い、プラス面・マイナス面に整理して解決策を考えました。クレヨンや折り紙なども使って個性的な壁新聞風にまと

たくさん出された意見をどうまとめるか
真剣に話しあったグループワーク

めていました。発表では「患者さんからのありがとうがうれしい」

新潟

話し合って ポスター作成



職場の事を話し合いながらポスターを作成しました

「先輩によって指導内容が違ふ」などさまざまな思いが紹介されました。交流会はグループワークのメンバーで話ができるように着席し、交流をさらに

深めました。参加者からは「集まるからこそ届けることのできる意見があると思うのでこれからも労働組合を大切にしていきたい」と感想が寄せられました。

つた後、各班それぞれオリジナルティアーあふれるポスターを作成しました。その後の懇親交流会では恒例となったギネス大会を行い、大いに盛り上がり楽しむことができました。

7月21～22日、70人の青年が集まり青年委員会夏の交流会を行ない、1日目は学習会として、①サービス残業の廃止②人員不足の改善③職場環境の改善をテーマにポスターを作成しました。6つのグループに分かれ、職場の問題点を話し合

2日目は、ドッジボール大会で汗を流しました。班ごとに熱戦が繰り広げられ、職場、職種を超えた交流を図ることができました。参加者からは「楽しく学習し多くの人と交流ができてよかった。」「また、参加したい」といった声が多く聞かれました。今後も多くの仲間が楽しく、活発な活動ができるような青年委員会にしていきたいと思っています。

茨厚労 女性部・青年部合同運動会

「組合の楽しさ大切さを伝えて行きたい」

6月22日、茨厚労は土浦協同病院付属看護学校体育館で女性部・青年部合同運動会を開催し、6支部から94名(子ども14名含む)が参加しました。

全体を4つのチームに分けて、女性部で何度も内容を話し合って決めた10個の多彩な競技を行ないました。「地元スーパのチラシを使った「買い物競争」では育メンパパが子どもをおんぶしながら活躍。「逃げ

6月22日、茨厚労は土浦協同病院付属看護学校体育館で女性部・青年部合同運動会を開催し、6支部から94名(子ども14名含む)が参加しました。



逃げ回るカゴを追いかけて玉入れ

岐阜

権利学んで

仕事も自分も

3月7日に「心も体もいきいきと仕事も自分も大切に」をテーマに女性部集会を行ない、13名が参加しました。前半に行なったブリザーブドフラワー作りでは開花作業から、軸づくり、アレンジ等体験させていただき、講師に手直ししてもらって、素敵な作品ができました。

午後からは佐藤副執行委員長から「女性の権利を知って、使って、元気に働き



各々作ったブリザーブドフラワーを手に

ていますか?」「年休は持効で消滅されていますか?」「子の看護休暇や介護休暇は知っていますか?」など、職場の権利クイズを交え詳しく説明していただきました。

富山

夢かなえる

有意義な情報発信

2月17日、129名が参加し女性部・看護部合同集会を開催しました。「夢をかなえるマネープラン」と題して教育資金、住宅資金、老後資金、生命保険を柱としたライフプランニングについてファイナンシャルプランナーから講演を頂きました。ラ

イフプランについて見直す事が大切だと思いつつなかなか踏み込む機会がなかった事もあり、「知らなかった、これは大変!」と思う情報が満載でした。講演後、地域の食材にこだわった彩りも鮮やかなホテルランチを堪能しました。これからも組合員のニーズに合った有意義な情報発信、交流の場として発展させていきたいと思っています。

秋田

手作りの大切さ
家族で

6月22日、秋厚労女性集會を51名の参加で行ないました。栄養士による「生きる基本は食にあり」の講演と、ブリザーブドフラワーの手芸講習。また2012年原水爆禁止世界大会の参加者からの報告があり、盛りだくさんな集會となりました。



胸元に色見本をあてて診断する「パーソナルカラー」

心もリフレッシュ
女性部の取り組み

6月22日に「美人のものとセミナーバイキング」と題して女性のつどいを行ない、35名が集まりました。パーソナルカラー発見、美しい立ち居振る舞い、ハンドマッサージ、ヨガの入門などさまざまなブ

いつも後回しで
働く女性達へ

パーソナルカラーを発見するブースでは1人ずつ講師に色見本を胸元にあててもらい診断。自分がどんな色が似合うのか改めて気付く事ができ、これからのおしゃれにますます磨きがかかりそうです。

では立ち方や座り方などきれいな見える様々な動作を学び、実際に行なって行きました。そのきこちない姿に笑いが起こりました。

いつもは自分の事は後回しで働いている女性達が自分のための贅沢な時間を過ごす事ができました。

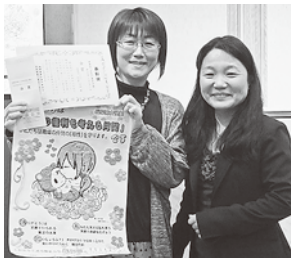


ブリザーブドフラワーの花輪づくり

母性保護月間

長野

「女性の権利を考える月間」として女性の権利ポスター・標語を各支部作成。毎年かなりの力作が作られてきています。そのコンクールを3月3日の長厚労に働く女性のつどいで行ないました。ポスターでは、写真のリハ支部が金賞。標語ではリハ支部【「無理しないでね」声がけ一つでやる気になれる優しい職場】が1位、篠ノ井支部の【老いも若きも大和撫子社会に活かそう 女性の力】が2位となりました。



金賞になったリハ支部のポスター

岐阜

母性保護月間として、各支部に側面に生休や育休の権利などを記載しているダストボックスを作成し配布しています。

福島

母性保護月間の取り組みとして、母性保護の権利についてのアンケート実施や福厚労独自のポスター・ポプリ設置、母性保護のDVD鑑賞や学習会を行いました。申し入れ書をファイルに挟み各所属長へ申し入れました。5分会で53名取得し取得ゼロの分会はなく、勤務表に組み入れた所もあります。ECOキャップ運動に取り組み、累計で221人分のポリオワクチンに変えることができました。



側面に権利を記載したダストボックス



香り月間としてポプリを作成しました



育メンパパも大奮闘の買い物競争



最後にみんなで記念写真。楽しい運動会になりました

夜勤交替制勤務の改善と働きがいのある職場へ



厚労省に向かって「いのちまもれ」とアピール

10月17日に医労連や医療関係団体の実行委員会形式で行われた「いのち・生活・安全まもる10・17国民集会」(写真右上)では、全体で4500人が集まり、全厚労からは120名が参加しました。銀座パレードでは、独自のプラカードや頭上に掲げる横断幕を新たに作成し、各県でも独自のデコレーションや宣伝の工夫をしながら、「夜勤を減らせ」「看護師増やせ」の要求を沿道の人々に大きくアピールしました。



長野駅前で「夜勤制限・法制化」の署名宣伝

夜勤制限の世論を 広く大きく

10月17日に医労連や医療関係団体の実行委員会形式で行われた「いのち・生活・安全まもる10・17国民集会」(写真右上)では、全体で4500人が集まり、全厚労からは120名が参加しました。銀座パレードでは、独自のプラカードや頭上に掲げる横断幕を新たに作成し、各県でも独自のデコレーションや宣伝の工夫をしながら、「夜勤を減らせ」「看護師増やせ」の要求を沿道の人々に大きくアピールしました。

全厚労では、12秋闘で「看護職場改善・労基法違反一掃月間」を設定し、看護師等が働き続けられる職場づくりを目指して、取り組みを進めることを確認。実効ある夜勤協定の締結と遵守活動強化の他、労基法遵守、委員会等の負担軽減、有休取得、育児支援、メンタル対策など大きく6点の重点目標を掲げてきました。

協定遵守・夜勤制限は 看護師の「団結」で

福島では原発事故等の影響もあって、県内からの看護師の流出に歯止めがかかっていない中で、夜勤協定遵守と離職防止策を重点課題として取り組むことを労使確認してきました。しかしながら人手不足で増える夜勤負担に対して、白河病院では管理者が夜勤専従や2交替の話を持ちかける動きがありました。労働組合では、①月8回以内という夜勤協定違反であること、②労使合意なき労働条件変更は許されないこと、③学習会を徹底して行い、導入反対で意思統一し、策動を跳ね返しています。また一方では、昨年に引き続き、労使共同で、「働きやすい職場づくり」に向けた「5局長通知」研修会を9月にも開催する予定にしています。



長野「女性のつどい」で講演する今泉清保さん

福島では原発事故等の影響もあって、県内からの看護師の流出に歯止めがかかっていない中で、夜勤協定遵守と離職防止策を重点課題として取り組むことを労使確認してきました。しかしながら人手不足で増える夜勤負担に対して、白河病院では管理者が夜勤専従や2交替の話を持ちかける動きがありました。労働組合では、①月8回以内という夜勤協定違反であること、②労使合意なき労働条件変更は許されないこと、③学習会を徹底して行い、導入反対で意思統一し、策動を跳ね返しています。また一方では、昨年に引き続き、労使共同で、「働きやすい職場づくり」に向けた「5局長通知」研修会を9月にも開催する予定にしています。

各地の看護師集会の 取り組み

進められ、今後夜勤協定遵守や看護要求に関して職場運営委員会に準ずる会議の場で議論と取り組み強化を行うことを確認しています。夜勤手当の増額要求では、月8日を越える夜勤に対し、ペナルティとして段階的な手当加算を行うとともに、夜勤回数削減に向けての労使協議を続けることにしています。



職場の労働条件改善にできることを話し合う(三重)

全厚労の秋の幹部・看護師集会では、青森テレビキャスターの今泉清保さんをお呼びしましたが、その後、各県で行われた集会でも長野の女性

大分では、12春闘で「2交替勤務は希望者のみ」とする労使協定を結びながら、12年の夏頃から「原則2交替の導入」とする攻撃が始まり、年明けから全厚労西日本ブロックの応援等も入り、3回の団交で、会側の策動をはね除け「原則3交替」を確認させました。会のごり押しを許さなかった背景には、看護部の組合員の93%以上を集めた「現行協定どおりを求める署名」や60名以上の待機集会など、多くの組合員の「団結」がありました。

にも招待され、今泉さんの講演が非常に好評を得ていました。今泉さんは、看護師自身が周りの人々に職場の実態を訴えていくことが大事、きついつきには我慢せず休むことが大事、だと強調されています。

また2月に開催した三重

委員会・研修・研究の 負担を減らそう

委員会や研修での「任意・業務」の区別や業務の場合には、原則時間内開催として、時間外開催や時間外に渡る場合には、賃金支払いとなることは、当然の法律遵守であり、この間、多くの県・支部でも確認がなされてきています。組合員への啓蒙とその実際の運用がきちんとなされているかの点検が大切になっています。

また看護研究の課題では、広島吉田支部で、計画とまとめ作業について、4時間の時間内作業や2時間までの時間外を認めさせています。

夜勤協定遵守・夜勤点検 活動に取り組もう

現在、全厚労では改めて夜勤協定闘争を進めるために各県・支部の夜勤協定や夜勤点検活動の実態について調査を行っています。

夜勤の有害性が明らかになるなかで、一人あたりの夜勤回数や業務負担を減らしていくことが求められています。いま一度、自分たちの職場の協定を学んでいきましょう。

の幹部・看護師集会では、労働科学研究所の佐々木司さんを招いて、夜勤交替制の最新の科学的な知見を学ぶとともに、グループワークで「働きやすい職場づくり」の討論・交流(写真)を行いました。

徳島では診療報酬上、勤務時間と見なされる褥瘡・感染・医療安全委員会について、関わる研修についても時間内とすることが13春闘で確認されました。また大分では、一般的な「研修」については「任意」であることとともに、感染・医療安全に関わる研修について「業務」であることを確認させています。

れており、労働条件は労働組合と使用者が対等の立場で決定していく原則や夜勤協定という「労働協約」の意義をしっかりとつかんでいくことが大切になっています。いま一度、自分たちの職場の協定を学んでいきましょう。